

改訂のポイントとコラム・付録について

編集部



『ベーシックジーニアス英和辞典 第2版』は、全面改訂でまったく新しい辞書に生まれ変わりました。紙面レイアウトを中心とした改訂ポイントと、充実したコラム・付録の数々をご紹介します。

■見やすい引きやすい紙面レイアウト

初版と比べてまずお気づきになるのは、紙面レイアウトが一新したことだと思われます。文字の大きさを全体に大きくし、色文字を効果的に使っています。見出し語のランクを変更したのは関山健治先生の記事 (pp.6-7) の通りですが、重要語である小・中学校レベル (*4つ) と高校教科書レベル (*3つ) の見出し語は、2行どりの大きな色文字としました。また、その重要語の主要な語義も大きな色文字にして、それらの文字をざつと追うだけでその語の意味の全体のイメージが把握できるように工夫しました。

ad·vance

/əd'veəns/ アドヴァンス | -vá:ns アドヴァーンス/
 —動 (三重観) **advances** /-iz/ ; (過去・過去分) **ad-
vanced** /-t/ ; (現分) **advancing**)
 一① ① 進む, 前進する。
 • The army advanced to the river. 軍隊は川のところまで進んだ。
 ② 進歩する; 昇進する; 〈物事が〉進む。
 • The technology is advancing very quickly. その技術は急速に進歩している。
 ③ 〈物価・率など〉上がる。
 一① …を進歩させる, 発展させる, 促進する。

初版同様、発音表記は発音記号 (IPA) とカタカナ発音を併記しましたが、第1アクセントを色文字として、よりわかりやすい表記としました。

■重要語を理解するための工夫 「ベーシック単語ボード」「ベーシック単語カード」

最重要語 (18項目) については、その語義のイメージを一目でつかめるようイラストつきの特設ページ「ベーシック単語ボード」を用意しました。その語を使ったよく使う表現もまとめてあり、学習の導入としても最適です。

重要語 (206項目) については、見出し語のすぐ下に単語カード形式の「ベーシック単語カード」として、主要な語義とよく使う表現をまとめました。その語のポイントが一目で理解できます (「ベーシック単語カード」については、畠山利一先生の記事 (pp.4-5) もご参照ください)。

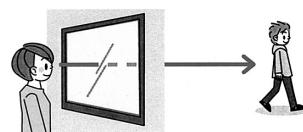
■豊富なイラストで語のイメージがつかめる

初版でご好評をいただいている語義のイメージ図ですが、今回の改訂では生徒により親しみやすく、そして英語の使用場面を視覚的に理解してもらうために、語義イメージを表すイラストを多用しました。

• A car went through the tunnel. 車がトンネルを通り抜けた。



• She saw him through the window. 彼女は窓越しに彼を見かけた。



■生徒の知識を広げる豊富なコラム

今回の改訂では、生徒の知識を広げる多種多様なコラムを追加しました。本文同様、イラストも効果的に配置し、生徒の英語への興味・関心を高める工夫をしています。

コラムは、語や表現の使い方に関するもの（「使い分け」（95項目）、「ここに注目！」（26項目））、語源など単語の背景に関するもの（「なるほど単語情報」（29項目））、類義語や接頭辞・接尾辞などの活用で語彙増強につながるもの（「似た語」（70項目）、「いっしょに覚えよう！」（18項目））などがあります。

楽しく学べる工夫として、クイズ形式のコラム「Quiz!」を多数収録しています（91項目）。意外な単語の使い方のほか、なぞなぞやことわざなども盛り込んで、英語への興味を広げます。また、関連語をまとめたものや文化情報に関するコラムも充実しています。それぞれのコラムの詳しい内容については、本特集の各記事をご参照ください。

■身のまわりのことを英語で表現！「ピクチャー・ディクショナリー」

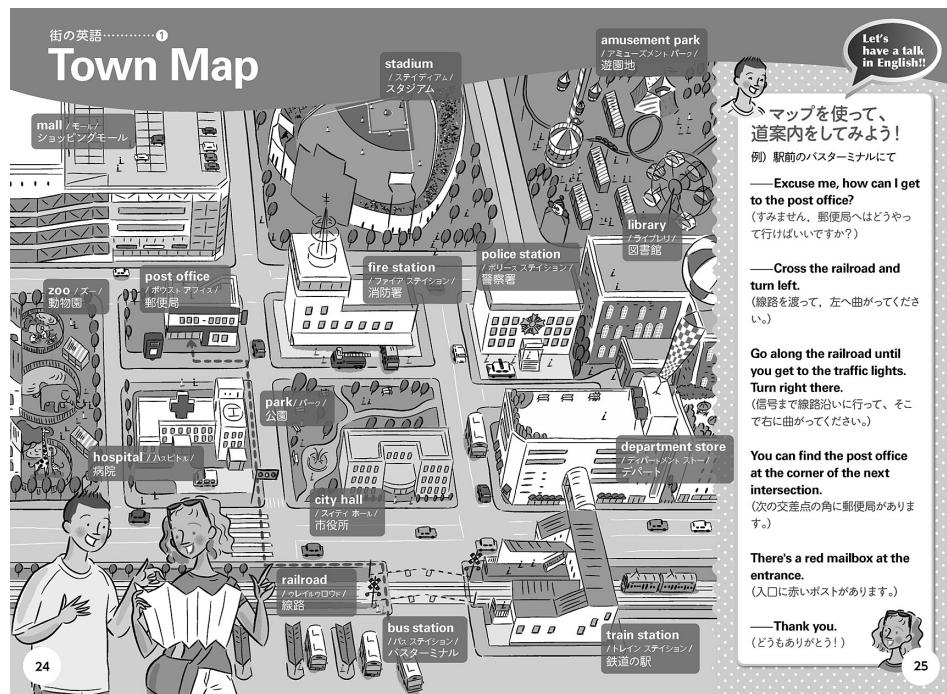
巻頭カラーページとして「ピクチャー・ディクショナリー」（29ページ）を用意しました。学校や日常生活の身近な場面をイラストで表し、普段よく使うものや動作などを英語でどう表現するか、楽しく学ぶことができます。

教室英語や道案内、買い物など、その場面で使える会話例も盛り込みました。

ここに収録した語句や会話例については、スマートフォンやタブレットで音声が聴ける仕組みを提供いたします（近日中に公開予定）。

* * *

内容でもビジュアルでも、親しみやすさ・使いやすさを追求し、随所に工夫をこらした『ベーシックジーニアス英和辞典 第2版』は、高校生が初めて使う英和辞典として最適です。ぜひこの辞書を手に取っていただき、生徒さんたちといっしょに、英語学習の楽しさを再確認していただければ幸いです。



ピクチャー・ディクショナリー